

平成25年2月 東京地区百貨店売上高概況

平成25年3月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1,082億円余
2. 前年同月比	2.5% (店舗数調整後/2か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭2.5%(87.3%) : 非店頭2.0%(12.7%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成25年1月対比±0店)
5. 総店舗面積	904,710㎡ (前年同月比:-1.2%)
6. 総従業員数	18,652人 (前年同月比:-0.9%)
7. 3か月移動平均値	7-9月 -0.2%、8-10月 -0.3%、9-11月 0.9%、 10-12月 0.1%、11-1月 0.7%、12-2月 0.3%

[参考] 平成24年2月の売上高増減率は-1.8% (店舗数調整後)

【2月売上の特徴】

- (1) 東京地区の入店客数は、冷え込みの影響で概ね2%前後の減少であったが、売上高については改装効果や高額消費の活況で、都内ほぼ全店が前年実績をクリアした。
- (2) 動きの良かった高額商材としては、具体的には、輸入特選雑貨や高級時計のほか、高級寝具、特選食器、特選旅行などが目立った。
- (3) 東京地区では衣料品も前年をクリアしたが、特に紳士服は+7.1%と大幅な伸びを見せた。この背景には、景況感の改善に加え、男性のファッションスタイルの多様化が進み、靴や鞆などの服飾雑貨を含めて消費者の関心度が高まっている傾向もある。
- (4) 都内のバレンタイン商戦は全国水準以上に活況であった。多くの店で二桁増を記録した。
- (5) 3月中旬までの東京地区の商況は、平均して5%前後の伸びを示している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 27.6日 (前年同月比-1.1日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数20店舗)
①増加した: 4店、②変化なし: 3店、③減少した: 13店
- (3) 2月歳時記 (バレンタインデー、節分、立春) の売上 (同上/有効回答数16店舗)
①増加した: 11店、②変化なし: 3店、③減少した: 2店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値/有効回答数20店舗)
①増加する: 5店、②変化なし: 10店、③減少する: 4店、④不明: 1店

東京地区百貨店 売上高速報 2013年02月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	108,292,913	100.0	2.5 (1.7)
紳士服・洋品	7,772,847	7.2	7.1
婦人服・洋品	20,014,658	18.5	0.9 (0.2)
子供服・洋品	2,523,987	2.3	-1.8
その他衣料品	2,145,723	2.0	-2.5
衣 料 品	32,457,215	30.0	1.9 (1.4)
身のまわり品	14,793,022	13.7	14.2 (10.8)
化粧品	6,084,177	5.6	1.3
美術・宝飾・貴金属	6,022,708	5.6	10.9
その他雑貨	5,780,467	5.3	-11.9
雑 貨	17,887,352	16.5	-0.6
家 具	2,001,699	1.8	0.3
家 電	1,096,105	1.0	9.8
その他家庭用品	3,884,106	3.6	-1.5 (-2.9)
家 庭 用 品	6,981,910	6.4	0.6 (-0.2)
生 鮮 食 品	4,183,081	3.9	-3.5
菓 子	10,290,493	9.5	2.3
惣 菜	5,790,481	5.3	-0.4
その他食料品	8,020,883	7.4	2.3 (0.7)
食 料 品	28,284,938	26.1	0.9 (0.4)
食 堂 喫 茶	2,794,316	2.6	1.5 (0.4)
サ ー ビ ス	1,960,976	1.8	-9.6
そ の 他	3,133,184	2.9	4.9 (2.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商 品 券	2,188,275 千円	-26.9 (-27.3)
従 業 員 数	18,652 人	-0.9
店 舗 面 積	904,710 m ²	-1.2

営 業 日 数	27.6 日	前年	28.7 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品が4か月連続、食料品が2か月連続、衣料品が3か月ぶり、家庭用品が4か月ぶりのプラス。雑貨が2か月ぶりのマイナスとなった。また、化粧品が7か月連続、美術・宝飾・貴金属、菓子、その他食料品が2か月連続、家電が3か月連続のプラス、紳士服・洋品、婦人服・洋品が3か月ぶり、家具が5か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	2.5	—	2か月連続プラス
紳士服・洋品	7.1	0.5	3か月ぶりプラス
婦人服・洋品	0.9	0.2	3か月ぶりプラス
子供服・洋品	-1.8	0.0	3か月連続マイナス
その他衣料品	-2.5	-0.1	2か月ぶりマイナス
衣料品	1.9	0.6	3か月ぶりプラス
身のまわり品	14.2	1.7	4か月連続プラス
化粧品	1.3	0.1	7か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	10.9	0.6	2か月連続プラス*
その他雑貨	-11.9	-0.7	10か月連続マイナス*
雑貨	-0.6	-0.1	2か月ぶりマイナス
家具	0.3	0.0	5か月ぶりプラス
家電	9.8	0.1	3か月連続プラス
その他家庭用品	-1.5	-0.1	10か月連続マイナス
家庭用品	0.6	0.0	4か月ぶりプラス
生鮮食品	-3.5	-0.1	2か月ぶりマイナス*
菓子	2.3	0.2	2か月連続プラス*
惣菜	-0.4	0.0	19か月ぶりマイナス*
その他食料品	2.3	0.2	2か月連続プラス*
食料品	0.9	0.2	2か月連続プラス
食堂喫茶	1.5	0.0	4か月連続プラス
サービス	-9.6	-0.2	3か月連続マイナス
その他	4.9	0.1	10か月ぶりプラス
商品券	-26.9	-0.8	22か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>